

2025年(令和7年) 10月 8 日 水曜日 南 信 州 新 聞

# 建築科一年生。プロから学ぶ

## 井坪工務店が出前授業

### プロから「職人とは」学ぶ

飯田OIDE長姫高校は7日、リフォームから新築注文住宅などを手掛ける井坪工務店（飯田市上郷黒田）の

大工から、職人としての心構えや仕事の楽しさなどを聞く授業を開いた。同校建築学科の1年生約40人が熱心に耳を傾けた。

技能労働者の業務内容や携わる人のやりがい、誇りなどを聞き、将来の選択肢の一つにしてもらおうと、初

めて外部講師を招いた。同社の社員が、さまざまな業種に不可欠な「職人」の重要性を強調。「いなくなれば当たり前の生活が難しくなる。職人とは当たり前の生活をつくる人」と語った。

「家は安らげる場所であり、日常の一部になる。職人の手仕事で成り立っている」とも。「誰かの当

たり前を守る職人を志してほしい」と言葉を送った。

質疑応答の時間もあり、「どのような人が向いているか」と向けられた職人は「もの作りが好きな人」と回答。「一番大事にしていること」

は「お施主さまの立場で考えること。一番大変だが一番面白いところ」とした。

井坪寿晴社長は「家は人の人生を形

にするところ。その舞台をつくるのが大工。授業を通じて少しでも魅力を感じてほしい」と呼び掛け

ていた。

OIDE長姫高  
建築学科1年

### 井坪工務店が出前授業



井坪工務店がOIDE長姫高で開いた授業

# 電気電子工学科 3 年 大沢さんが ロボットアイデア甲子園 南信州大会 最優秀 全国大会出場

2025 年(令和 7 年) 10 月 29 日 水曜日

南 信 州 新 聞



発表会に出場した学生の皆さん

## 大沢さんが最優秀 全国へ ロボット アイデア甲子園 南信州大会の発表会

高校生らが産業用ロボット活用のアイデアを競う「ロボットアイデア甲子園」の南信州大会の発表会が 25 日、飯田市座光寺のエス・バードで開かれた。飯田下伊那地域の高校や専門学校に通う生徒 6 人が出場し、ロボット活用のアイデアを発表。飯田 OIDE 長姫高校 3 年の大沢征斗さん(18)が最優秀賞を受賞し、12 月の全国大会に出場する。

ロボットアイデア甲子園は 23 の地方大会があり、南信州大会はその一つ。昨年初めて開き今年 2 回目で、地元製造業でつくる実行委員会が主催した。南信州・飯田産業センターが協力、金融機関 3 社が後援し、15 社が協賛した。

発表会に先立ち、9 月に同市川路の三和ロボテイクスで見

学会を実施。学生たちはロボットの実機操作を体験し、アイデアのレポートを作成した。

この日生徒たちはレポートに基づいて考えた具体的なアイデアを発表。社会問題の解決につながるアイデアを考案し、生成 AI のチャット GPT で描いたロボットのデザインも見せながら、経済効果から販売価格まで説明した。

最優秀を受賞した大沢さんは、道路の端にある白線を読み取って動き、道路脇に生える雑草を取るロボットを考案していた。道路の草が伸びていると外観が悪く、高齢化や人手不足、猛暑で除草作業が大変になっていることに着目。同校の実習でつくったライントレースロボットをアイデアに生かした。

「まさか自分が選ばれるとは思わなかった。話の無駄を省くなど相手にいかに伝えるかを考えた」と驚きながらも笑顔を見せ「出るからには全国でも 1 位になりたい。草刈りもするなどアイデアをさらに練って、地域課題になっている除草に役立つことを PR したい」と意気込みを語った。

**飯田 OIDE 長姫**  
**電気電子工学科**  
**2 年連続 全国大会へ**